

大石早生の収穫も終了しましたが、今後は紅りょうぜん、静香と続いて収穫を迎えます。また、梅雨の期間は、病害虫の多発条件に適した環境で経過していますので、自園の特別散布などを踏まえ防除の徹底を図りましょう。

＊シンクイムシ類の発生が増加しています。散布間隔、死角に注意し、薬液が十分にかかるよう散布しましょう。

＊秋姫等、黒斑病、かいよう病防除のため、アグレプト水和剤・マイコシールド他の散布をする場合、使用回数、収穫前使用時期に注意して下さい。

1. 薬剤散布 隣接園（特に収穫期の作物）に飛散しないように注意して下さい

《プラム》（特報 no7、前回散布から約 10 日後）

・散布時期：	7 月下旬～8 月初旬	（7 月 28 日～8 月 1 日頃）	
・散布薬剤：	水	100 ㍓当り	・散布日 月 日・散布量 ㍓
	（展着剤・まくぴか 20ml）		
	フリントフロアブル 25	50ml	（収穫前日、2 回以内）
	アーデントフロアブル	50ml	（収穫前日、3 回以内）
・対象病害虫：	灰星病（すす点病）シンクイムシ類・ケムシ類・ハダニ類		
・散布量：	10 a 当り SS500 ㍓ 動噴 600 ㍓ （散布むらのないよう、十分に散布する）		
・注意事項	＊シンクイムシ類の発生がある場合、アルバリン顆粒水溶剤 2000 倍（前日、3 回）を加用散布する。 ＊秋姫で黒斑病（かいよう病）の発生がある場合は、バリダシン液剤 5 の 500 倍（14 日前、4 回）又は、スターナ水和剤 1000 倍（7 日前、3 回）を散布する。		

※シンクイムシ類－被害果がみられます。特に被害果は園外へ除去し処理をお願いします。
薬剤散布は、ムラの無いようたっぷりと散布しましょう！

○スモモヒメシンクイムシ発生状況	（ ）内、前回調査数	
（各地区フェロモントラップ調査日：7/10）	－ ＊上今井地区－10 頭↑（5）	＊草間－44 頭⇄（37）
（前回フェロモントラップ調査日：7/3）	－ ＊一本木－34 頭⇄（41）	＊倭地区－82 頭↑（42）

《ブルーネン》（前回から約 10 日後）

・散布時期：	7 月中下旬	（7 月 19 日～7 月 23 日頃）	
・散布薬剤：	水	100 ㍓当り	・散布日 月 日・散布量 ㍓
	オンリーワンフロアブル	50ml	（収穫前日、3 回以内）
	㊦イカズチWDG	66 g	（収穫前日、2 回以内）
・対象病害虫：	灰星病、シンクイムシ類、（ケムシ類）		
・散布量：	10 a 当り SS500 ㍓ 動噴 600 ㍓ （散布むらのないよう、十分に散布する）		
・注意事項	＊今回以降果粉（ブルーム）溶脱防止及び果実汚染防止のため展着剤は使用しない。 使用する場合は、 ＊展着剤は、シリコーン系展着剤まくぴか 5000 倍を今回以降使用してもよい。（湿展性改善）		

《ブルーネン》（前回から約 10 日後）

・散布時期：	7 月下旬～8 月上旬	（7 月 29 日～8 月 2 日頃）	
・散布薬剤：	水	100 ㍓当り	・散布日 月 日・散布量 ㍓
	フリントフロアブル 25	50ml	（収穫前日、2 回以内）
	㊦バリアード顆粒水和剤	50 g	（収穫前日、2 回以内）
・対象病害虫：	灰星病（すす点病）、シンクイムシ類、アブラムシ類		
・散布量：	10 a 当り SS500 ㍓ 動噴 600 ㍓ （散布むらのないよう、十分に散布する）		
・注意事項	＊ハダニ類の発生園では、カネマイトフロアブル 1000 倍（3 日前、1 回）を加用散布する。 ＊フリントフロアブル 25 に代えてナリア WDG2000 倍（前日、2 回）でもよい。 ＊展着剤は、シリコーン系展着剤まくぴか 5000 倍を今回以降使用してもよい。（湿展性改善）		

次回特報は 8 月 1・2 日配布